

審議会の概要	
名 称	平成30年度向日市地域福祉計画策定・推進委員会
日 時	平成31年3月20日（水）午前10時から午前11時30分
場 所	向日市役所本館 大会議室
出 席 者	（委員） 拾井、籠谷、川本、山本、藤田、清水、平井、高橋、安田 ※欠席：吉本
	（幹事） 水上、川本、小畑、長谷川（和）、長谷川（琢）、柴田、大野、木下
	（事務局） 井上、湯川、松下
議 長	拾井（委員長）
傍 聴 人	な し
議 事	
1	開 会
2	<p>（1） 第2期向日市地域福祉計画（前期計画）進捗状況について 事務局から「第2期向日市地域福祉計画（前期計画）進捗状況」について説明した。</p> <p>【質疑応答・助言等】</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>子育て支援に関して、市内に常設の子育て世帯のお母さん方が集まる施設がない。市民会館や市役所の建て替えの話があるが、常設の施設を作る計画はあるのか？ （事務局）→今のところ計画にない。</li> </ul> <p>（2） 地域福祉懇談会の報告について 事務局から「地域福祉懇談会」の開催について報告した。</p> <p>① 開催内容・周知方法に関して</p> <ul style="list-style-type: none"> <li>人数制限をしたことが、一番よくない。地域の行事でもそうだが、登録制にすると参加者がどんどん減っていく。運営側としては難しいだろうが、事前登録なしで参加できるようにしたほうがいい。</li> <li>若い人が参加していない。高齢の参加者のお孫さんを連れてきてもらうような取り組みをすると活性化するのではないか。</li> <li>チラシの回覧に関して、地域によっては情報があまり浸透していなかった。</li> <li>この会に限ったことではないが、いつも同じ方が参加している。定期的に交代がある自治会の組長さんが積極的に参加していただくと、新しいお顔が見られていい。</li> <li>前回、チラシが硬過ぎると指摘したが、改善されていてよかった。</li> <li>非常食の試食ができることをもっとアピールすると参加者が増えるのではないか。</li> <li>若い世代の人が集まる場所でチラシを配布してはどうか。</li> <li>ターゲットを子どもに絞った内容にすると、子育て世代の参加が増えるのではないか。</li> <li>SNSなどのツールを広報に利用してはどうか。</li> <li>同じ内容であっても年齢毎に懇談会を開催してもいいかと思う。</li> <li>段ボールベッドと非常食、内容は面白い。</li> <li>受ける方も「笑顔」、する方も「笑顔」。すべて「笑顔」から始まる。主催者側が全部取り仕切るのではなく、参加者に任せることで盛り上がることも多い。</li> </ul>

② 地域で気になることについて

- ・町内会の脱退者が多く、情報が行き渡らないため、行事の参加者も減っている。町内全体のコミュニケーションがなくなってきて寂しく感じる。
- ・70歳くらいの方は自分が高齢者という意識が薄い。老人会に入る方も減っている。
- ・災害時の対応のためにも、自治会には絶対みんな入ろうという形にしている。
- ・自治会を活性化させる「ちっちゃな取り組み集」みたいなものを作って、お互い参考にするといいのではないか。

(3) 次期計画策定に向けてアンケート調査について

事務局から「次期計画策定に向けてアンケート調査」について説明した。

① 地域のことで気になること

- ・子どもを連れて外に出ていけない方、家で閉じこもっている方が、どういう場所があれば行ってみたいと思うのか聞いてみたい。
- ・市民温水プールの利用者は高齢者が多い。視覚障がいの利用者の方もおられるが、路線バスの本数が少なくて困っている。コミュニティバスがあるとよい。
- ・高齢者と一緒に暮らしている50歳代、40歳代の方に関して、高齢者の方の支援が終わった後に困った状況になられていることがある。関わりが難しい。

② 回収方法について

- ・回収方法は幅広くしてほしい。来庁して提出してもいいし、郵送でもいいというふうに、一枚でも多く集める方法を考えてほしい。

(4) 向日市社会福祉協議会における取組事例について

向日市社会福祉協議会から取組事例「敬老の日大作戦」について説明した。

- ・若い人に企画を任せている点が素晴らしい。
- ・冊子も思い出になってよい。

3 閉 会